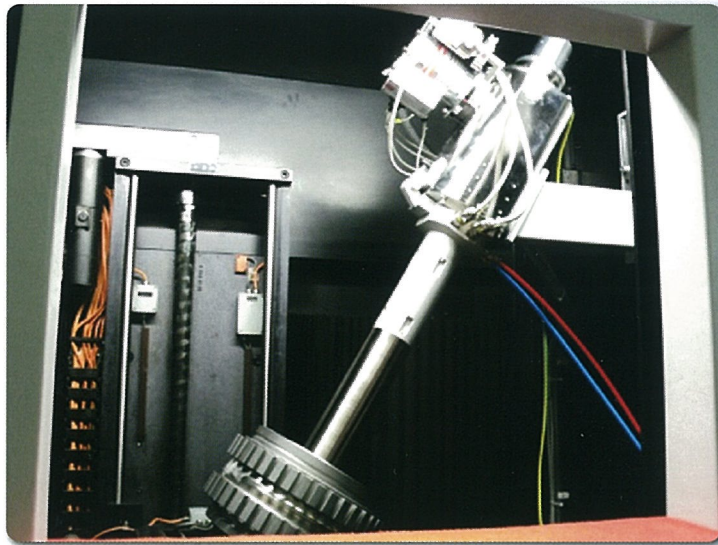
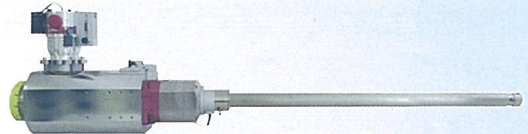
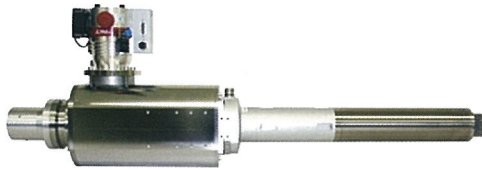


ロッドアノード型 X線発生器

Rod Anode X-ray Tube

小焦点で高解像度の最新X線発生器

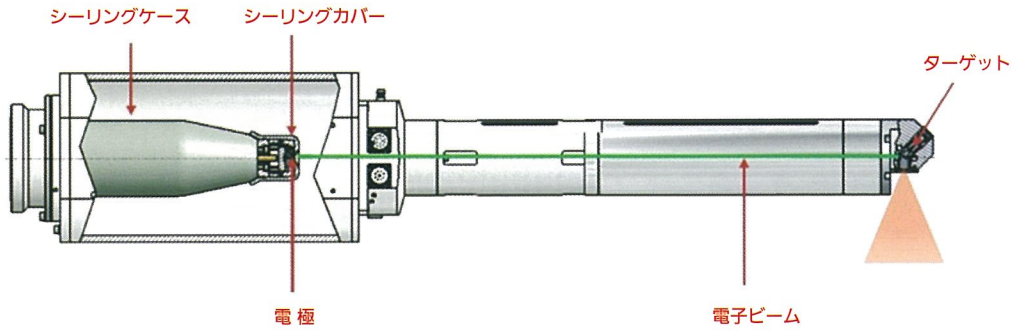


多くの産業分野の非破壊検査においてロッドアノード型X線発生器は重要な役割を担っています。その小焦点による撮影は高解像度の結果を齎し、タンクやパイプライン建設や鋳物業界、航空機エンジン、熱交換器など、様々な特殊用途にソリューションを提供致します。

航空機エンジン、中空タンクやパイプの周方向の溶接線のように全周にわたって閉ざされた壁面で覆われた部材の撮像を行う場合、通常のマイクロフォーカスX線発生器では、検査対象部以外の部分で吸収されるために撮像が困難となり、露光時間が大幅に増大するなどの不都合が生じます。このような用途に対して、X線照射部分を部材内部に挿入可能なX線発生器を用いることで内部照射が可能になり、吸収されてしまうX線を大幅に減らし効率的に撮像を行う事が可能です。

また、こうしたX線発生器を使用することで、X線焦点を検査対象部に近づけることができ、高倍率での撮像も可能になります。

ロッドアノード管球の構造



X線ビーム放射形状

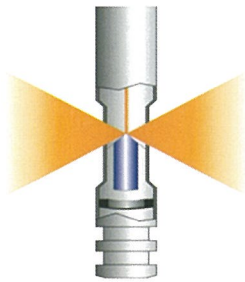
お客様の用途に応じて、ロッドアノード型管球は様々なビーム放射形状を選択することが可能です。

*パノラマ型

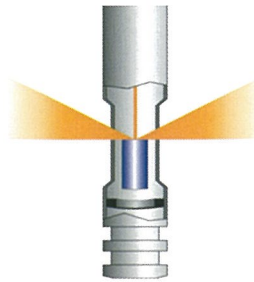
パノラマ型ターゲットはロッド全周（360°）からビームが放射され、開口角度が70°～110°（Type P1）あるいは60°～90°（Type P2）のものがあり、パイプの溶接部検査や航空機エンジンの部品検査などに用いられます。

*バックリフレクション型

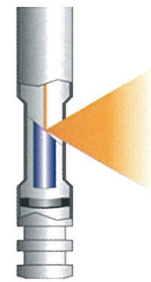
バックリフレクション型ターゲット（Type P3）は半円周（180°）のビーム放射形状を有し、開口角度60°～120°の範囲になります。熱交換器の管板面溶接部などの検査に用いられます。



パノラマ型ターゲット (P1)



パノラマ型ターゲット (P2)



バックリフレクション型
ターゲット (P3)

DATA	ロッドアノード (標準タイプ)				ロッドアノード (微小焦点タイプ)			
Max. 電圧 (kV)	160	190	225	240	160	190	225	240
Min. 電圧 (kV)	20				20			
Max. 電流 (mA)	3.0				3.0			
Min. 電流 (mA)	0.05				0.05			
最大電力 (W)	320				320			
焦点寸法 (μm)	Depending on length of rod anode (>100×>200)				Depending on tube power (40～140)			
ロッドアノード長さ (mm)	60-100				300-1500			
ロッドアノード直径 (mm)	25*1/45				70/80			
管球重量 (kg)	40		61		40		66	

*1 カスタマイズ可能です

注) 事前の予告無く、内容が変更になることが御座います。予めご了承ください。

JCSS
0264

は、計量法に基づく校正事業者登録制度の標準です。当社放射線計測センターは放射線・放射能・中性子区分の登録事業者で、0264は当放射線計測センターの登録番号です。JCSS登録事業者は、ISO/IEC 17025を基準として登録されています。

Pony ポニー工業株式会社
www.ponyindustry.co.jp

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-3-6

Tel:06-6262-6510 Fax:06-6261-2009

東京営業所 (03) 5472-1091 神戸営業所 (078) 367-1235 長崎営業所 (050) 3536-4800

日立営業所 (0294) 21-4033 高砂営業所 (079) 442-2776

京葉営業所 (043) 305-0012 中部営業所 (052) 684-8280